

# 令和5年度 第3回大和市障がい者福祉計画審議会 会議録（要旨）

日時 令和6年1月23日(火) 午後7時～午後8時30分

場所 大和市保健福祉センター5階 501会議室

出席委員 委員【11名】

傍聴人 なし

## 会議次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 諮問
4. 議題
  - (1)第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画にかかる計画案の検討について
  - (2)障がい者福祉計画の進行管理について
5. その他
6. 閉会

## 会議資料

- 資料1 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画（計画案）
- 資料2 大和市障がい者福祉計画進行管理に係る進行管理シート
- 当日配布資料1 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の計画案について
- 当日配布資料2 「障がい者計画」と「障がい福祉計画」の違い

## 【議事要旨】

### 議題3 諮問

大和市長より大和市障がい者福祉計画審議会に対し、「(仮称)第7期障がい福祉計画」並びに「(仮称)第3期障がい児福祉計画」の策定について諮問

### 議題4(1) 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画にかかる計画案の検討について

事務局：【資料1及び当日配布資料1に基づいて説明】

会長：第2回審議会で委員の皆様から出た意見（特に福祉施設の入所者の地域生活への移行）について、事務局にて検討修正していただき、本計画案が出来上がった。委員の皆様の見識に基づく意見がきちんと反映されており、概ね良いと思われる。

委員：計画案において、20ページ、重度障害者等包括支援について、数値目標を0としているが、県内各市の状況はどうか。

事務局：県内でも重度障害者等包括支援を提供している事業所の数が圧倒的に少ないため、例えば3政令市の実績及び見込み値とも0である。

委員：数値目標を0としている箇所について、0としている理由や説明を記載しなくてよいか。

事務局：数値目標については、過去のトレンドを反映し、地域の実情も踏まえながら、総合的に決めており、数値目標として0はありえると思っているが、確かに、0である理由や説明を付記した方がよいと思われるので、検討する。

会長：計画を見る市民にとっても、0である理由が記載してあったほうが良いと思われるので、事務局にて次回までに検討してほしい。  
では、その他については、本日示された本計画案のとおりでよろしいと思うので、次回の審議会にて最終案をお示しいただきたい。

#### 議題4(2) 障がい者福祉計画の進行管理について

事務局：【資料2及び当日配布資料2に基づいて説明】

会長：現行の障がい者福祉計画については、令和6年度までの計画となっており、中身についての本格的な議論は令和6年度の審議会にておこなうが、ただいま事務局より報告があった進行管理について、何か質問があるか。

委員：ただいま事務局より報告があった各事業については、並行して実施している事業との認識でよろしいか。

事務局：そのとおりである。

委員：進行管理シート、2-4、避難行動要支援者支援制度事業について、要支援登録者数は年度での新規登録者数の合計と年度末での登録者数の合計のどちらであるか。

事務局：年度末での登録者数の合計である。

委員：要支援登録者数の令和4年度実績が3954人、令和3年度実績より減少している理由は。

事務局：登録に際しての市民への周知方法を見直したことによるものである。

委員：進行管理シート、3-6、障害者に対する各種手当について、延べ人数で記載されている。実人数で考えると、手当をもらっている人数があまりにも少なすぎる。要件を拡大すべきである。

また、同じく、3-6、心身障害者医療費助成制度について、現在の大和市の要件では、精神障害者保健福祉手帳1級保持者のみが対象となっている。さらに、精神障害者の場合は入院費が対象となっていない。要件を見直すべく、当事者団体3団体にて大和市議会に陳情をし採択されているのに、大和市長が制度拡充しなかった。

委員：今月、北陸で大きな地震があったが、災害時、障がい者の避難体制について課題があるとの認識である。

会長：例えば、避難所での障がい者の方の過ごし方について、人工透析患者の水の確保の問題やストマを市役所で保管しておくとか、当事者団体と自治体が一体となり、ガイドラインを作成している自治体もあると聞いている。

災害時の障がい者の方の避難や避難所等での過ごし方などについて、次回の障がい者福祉計画へ盛り込むことも検討する必要があるかもしれない。

会長：それでは、次回審議会にて、「第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」の最終案を検討し、答申したいと考えている。

以上